

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 エネルギーコンソーシアム事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部
省エネ・再エネ社会推進課 エネルギー係

電話番号：058-272-1111(内2942)

E-mail：c11268@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,390 千円 (前年度予算額： 7,570 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 7,570 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,570 |
| 要求額 | 7,390 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,390 |
| 決定額 | 7,390 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,390 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素化の取組が進められている。

県では、温室効果ガスの抑制に向けた「緩和策」と、気候変動の影響を防止・軽減する「適応策」の取組方針を示す「地球温暖化防止・気候変動適応計画」を令和3年3月に策定し、2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現を目指している。

この計画を促進するために、エネルギー関連分野の技術、製品、サービスの開発や社会実装について、産学金官が連携して取り組む必要がある。

(2) 事業内容

- ・ワーキンググループ活動支援事業(6,000千円) 重点支援：補助率1/2、上限400万円
- ・展示会出展支援事業 (805千円)
- ・講習会等開催事業 (200千円)
- ・重点テーマ勉強会事業 (90千円)
- ・コンソーシアム運営事業 (195千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画における「緩和策」を促進するため、エネルギー関連分野の技術、製品、サービス等の開発や社会実装の取組を推進する必要があることから県負担は妥当である。

また、本コンソーシアムは、県からの負担金に加え、会員からの会費により運営する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|--|
| 旅費 | 100 | コンソーシアム事業に係る職員旅費 |
| 負担金 | 7,290 | WG活動支援事業、展示会出展支援事業、講習会等開催事業、重点テーマ勉強会事業、コンソーシアム運営事業 |
| 合計 | 7,390 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画（改訂中）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

産学金官が参画する「エネルギー関連産業コンソーシアム」の会員が連携し、再生可能エネルギーや省エネルギーに関する技術の調査・研究開発等を実施することで、2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現と気候変動への適応を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 終期目標 | 達成率 |
|-------------------------------|--------------|-------------------------------------|------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----|
| | | 実績 | 目標 | 目標 | (R12) | |
| 会員間で連携した取組の件数 (研究開発、展示会出展) | | [研究開発] 3件/年 [展示会] 4回/年 | | [研究開発] 3件/年 [展示会] 2回/年 | [研究開発] 3件/年 [展示会] 2回/年 | % |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|--------------------------|--|
| 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 令和4年度総会の開催 令和3年度ワーキンググループ 活動成果発表会実施 令和4年度ワーキンググループ 活動支援補助金に5件交付採択(6,854千円) 展示会への出展3回 |
| 指標① 目標：7回 実績：8回 達成率：114% | |
| 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 令和5年度総会の開催 令和4年度ワーキンググループ 活動成果発表会実施 令和5年度ワーキンググループ 活動支援補助金に3件交付採択(6,527千円) 展示会への出展2回 |
| 指標① 目標：7回 実績：5回 達成率：71% | |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 令和6年度総会の開催 令和5年度ワーキンググループ 活動成果発表会実施 令和6年度ワーキンググループ 活動支援補助金に3件交付採択(7,519千円) 展示会への出展4回 |
| 指標① 目標：7回 実績：7回 達成率：100% | |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p> | |
| (評価) 3 | 岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画における「緩和策」を促進する重要施策であるとともに、産業振興策として必要であるため。 |
| <p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) 2 | 会員間のワーキンググループ活動において、太陽光パネルや蓄電池などに関する技術開発が進んでおり、実用化が期待される。 |
| <p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p> | |
| (評価) 2 | 大学や関係機関等との連携を強化し、ワーキンググループ形成の促進を図っている。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 エネルギーを取り巻く状況の変遷により、エネルギー関連の技術要素や社会ニーズは年々変化しており、活動内容の見直し等による柔軟な対応が必要である。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コンソーシアムの活動内容等を広く発信し、脱炭素化に向けたエネルギー関連技術の開発や活用に関心のあるより多くの事業者等の参画を促す。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | |